



美食文化

俗に「民は食をもって天となす」と言うが、古北水鎮にはコンセプトの異なるさまざまなレストランがある。それぞれ異なる規模、スタイル、ランクの会食や宴会を開くことができる。中華料理、西洋料理からオーダーメイドのディナーまで、村の豊かなグルメによって素晴らしい料理を提供する。また、村の至る所目にする地元ならではの小吃（軽食）は、古北口地域の伝統的な飲食文化を今に伝えており、人々に愛される味である。水鎮の飲食店街をゆっくりと歩き、おいしい小吃を味わってみてほしい。

司馬小燒耐

司馬小燒耐は、北京の昔ながらの伝統的な製法で作られる焼耐で、米、粟、小麦、トウモロコシ、コーリアンの5種類の雑穀を原料として配合、発酵、蒸留して作る。かつては長城駐屯兵にとって欠かせない飲み物だった。

密雲燒肉

清代以降、北京密雲区では、「焼餅」（シャオピン、小麦粉を発酵させて円形に焼いたもの）、「焼肉」の3つが人気となった。中でも密雲焼肉と焼餅を合わせたものが人気を博している。焼肉は普通、豚のモモ、ヒレ、はほの肉を使い、脂と赤みのバランスが良く、肉は油で焼くので、弾力があり、味わい豊かで、しつこくなくさっぱりしていて絶品である。この料理は、『密雲縣志』に記載され、今に伝わっている。

古北烤鴨（古北ダック）

古北烤鴨王は、北京で最も有名な伝統料理「北京ダック」を看板料理としている。ダックは胎色でつやかで、外はカリッとして中はジューシー、肉質がよく、脂が落ちていくがしつこくない。レストランではさらに「北京伝統の味」を今に伝えるメニューも用意しており、北京出身のスタッフが本場の古き良き北京の味を提供する。

古開景泰藍火鍋

火鍋は元々、兵士が冬に暖を取るために考え出した料理である。滿州族風の七宝の銅鍋を使ったしゃぶしゃぶで、さっと湯通しした食材の味はフレッシュで栄養も豊富。

納蘭軒八大碗

納蘭軒という名前は清代の有名な詞人である納蘭性徳にちなんだものである。レストランは水辺に建てられ、おいしい料理に舌鼓を打ちながら、美しい河畔の景色を楽しむことができる。



司馬小燒耐 密雲燒肉 古北烤鴨 古開景泰藍火鍋

古北で遊ぶ

古北水鎮には文化を味わえる定番の観光地やインタラクティブ体験ができるスポットが多数あり、観光地を見たり伝統文化に触れたりすることが可能で、伝統工芸品のDIY体験もできる。

司馬小燒酒坊（焼耐酒造）

司馬小燒耐酒造では伝統的な手作業による酒造りを紹介している。またインタラクティブ体験に参加し、酒粕料理作りを体験できる。



永順染坊（染物工房）

永順染物工房は村の伝統手工芸で、植物から取った天然成分から染料を作っている。エコで環境に優しいだけでなく、工房内では伝統工芸を鑑賞、体験できる。



英華書院

明清風の建物の英華書院は、中国古代の学堂の姿を留めており、重厚な調音の様子を見ることができ、また、蓮の花が池いっぱいに咲き、香りが薫る優雅な雰囲気である。英華書院は明清時代には古北口地区で唯一の総合教育機関だった。書院は「含英咀華（優雅な文章を味わう）」から名付けられ、学生たちの高い学習意欲を励ます意味が込められている。



橋无敌祠

橋无敌祠は、清の時代に旅客や貨物輸送の保護に当たった用心棒である謙震遠の人生を振り返る、依頼を受け、護送、受け渡しなどの当時の情景を再現し、運び屋の大変さを紹介している。



月老祠

白髪白眉の月下老人（縁結びの神様）が世間の男女の縁をつかさどり、大恋愛を興らせる、心から願い、縁を結ぶ同心願（南京錠）をかけ、心願堂に願をかければ、前世から現世の縁を見ることのできるだろう。



震遠驛局（護送局）

「驛局」は、清の時代に旅客や貨物輸送の保護に当たった用心棒である謙震遠の人生を振り返る、依頼を受け、護送、受け渡しなどの当時の情景を再現し、運び屋の大変さを紹介している。



八旗会館

明烏台義城は清時代の正黄旗の駐屯地で、多くの滿州族の文化が残されている。八旗会館内には、軍隊ホール、レセプションホール、婚嫁風俗ホール、武術練習場などの展示ホールがあり、八旗の子弟の軍事、生活様式、滿州清文化を知ることができる。



童玩館(兒童レジャーセンター)

古北の工場のすみにあり、目下北京郊外でも最も大きく、設備が最も新しい兒童レジャーセンターで、面積は約3,700、上下2階に分かれている。館内は熱帯雨林ホール、考古学洞窟、自然スペースなどに分けられており、大自然の健康な雰囲気の中で、子どもたちは大自然を探検することができる。子どもたちが好きな「走る、登る、滑る、転がる、跳ねる」などの無邪気な遊びができる館内のトランポリンやジャングルジムがあり、安全かつチャレンジや軽遊に満ちており、「遊び、運動、知育」が一体となっている。



レジャーアミューズメント

古北水鎮では、村の快適なスローライフをゆったりと楽しむことができる。

SPA

水鎮SPAは世界的に有名なアロマオイルを使用し、フェイシャル、ボディ、フットに専門的なケアを行う。長城から戻った後に、足道館で足つぼマッサージを受ければ、心身ともにリラックスできる。



バー

文化や景色を楽しむ路地のほか、バーやカフェなどのんびり過ごせる場所も揃っている。シックでゴージャスな光、アルコールの強さやコーヒーの香り、きらめくライト、囁きの中でほろ酔い気分を味わえる。



プール

現在、村にプールは5か所ある。屋外プールは4か所、緑の山々に抱かれている感覚を味わえる。ささぎるものがなく湖と融合したプールで泳げば、美しい景色を楽しみながら、遠くから聞こえてくる民間芸能の歌声も味わうことができる。



船遊水鎮

湖で揺れる遊覧船は、水鎮の粋なもので水鎮らしい風景である。遊覧船は、流れに沿って下るか、流れに逆って上るかで、違った角度から違う景色を楽しむことができる。月明りと颯々風々、提灯で照らされた船を漕いで村の中を進み、経験豊富な船頭の話す山水の物語に耳を傾ける。村の河畔にはアーチ橋がいくつもかかり、水鎮は雄大な長城のふもとでより穏やかで趣ある姿を見せる。水上遊覧船が喜びや楽しさを与え、リラックスさせてくれることだろう。



天然温泉

村には豊富な地熱資源があり、深さ3,376mから天然温泉を汲み上げており、仕事の疲れを洗い流し、リラックスした気分を満喫できる。屋外の露天風呂エリアでは、入浴とともに長城の雄姿と水鎮の美しい景色を堪能でき、大自然の穏やかさと心地よさを、心行くまで味わうことができる。



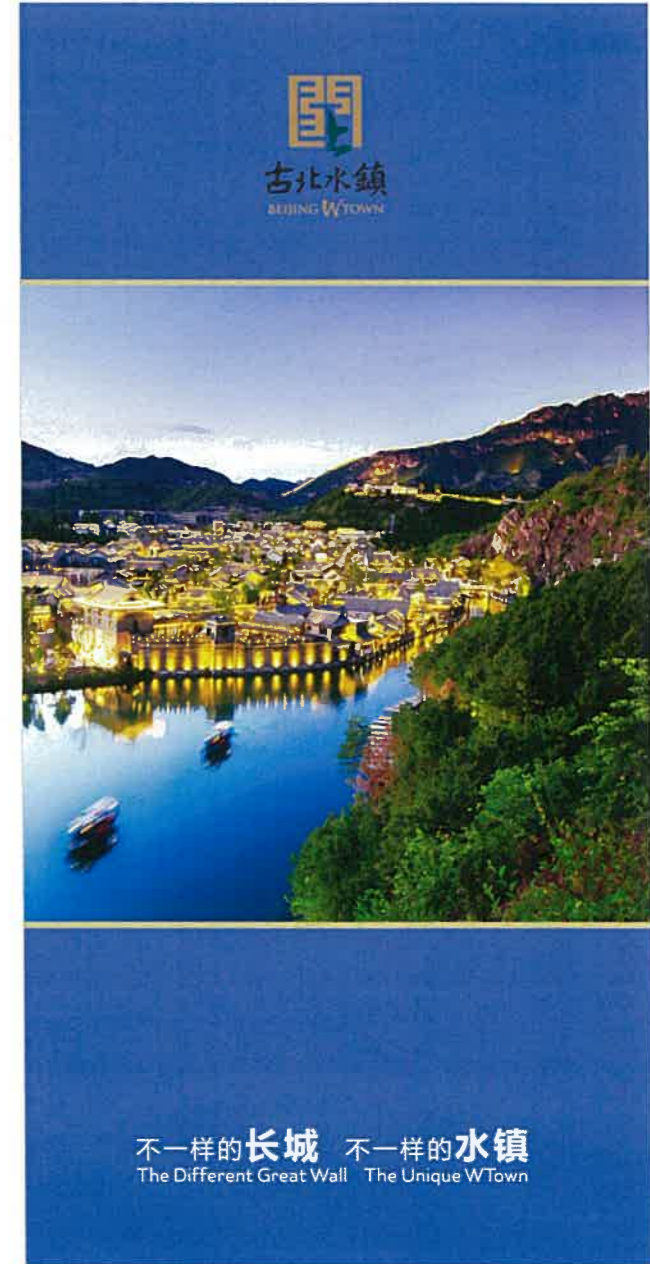
冬の日の雪遊び

冬はロマンチックな一面の銀世界となり、雪の城やかまくらを作ったり、スノーチューブ、スノーバイク、スノータンクなどに乗ったり、スキーを楽しんだりできる。また、長城のふもとでスノーボーラーでは、ありとあらゆる雪遊びを楽しむこと



イベント

古北水鎮では、いつも特色あふれるイベントを開催している。「風鈴の村で春の声を聞こう」、中秋の満月の心温まるイベント「情の深い古北夜で長城の満月を望む」、「夜空飛行で古北の美しい景色を楽しむ」、「古北で秋を探し、色とりどりの秋を歩く」、「あったか温泉シーズン、長城のふもとで身も心も温まる」、「古北のクリスマス、夢と童話の世界」、「古北の春節、北方の年越しの味を楽しむ」などなど……



不一样的长城 不一样的水镇
The Different Great Wall The Unique WTown



古北について
 北京・密雲区の古北水鎮（司馬台長城）国際観光リゾートは中国の首都・北京に位置し、北緯40.3度、東経116.8度、北京の奥産地という美称を持つ。首都国際空港からの距離はわずか120kmで、周囲は青々と茂った山と碧い水に囲まれ、空気の澄んだ場所である。

リゾートは古北水鎮と司馬台長城の2つの観光エリアからなり、総面積は9km²。その前身は：歴代王朝の兵士が駐屯して生活を送っていた歴史ある村で、生活の息遣いを感じられる小鎮（小さな村）であった。2010年から古北水鎮建設団が本来の村の姿をもとに整備し、今日のレジャー、エンターテインメント、文化体験、ビジネスカンファレンスなどが一体化した国際的なリゾートとなった。



文化の継承
 古北口地区は歴史上、軍事的に重要な場所にあったことから「都の守護」と呼ばれていた。中国北京の文化ツーリズムの新たなランドマークである古北水鎮は、司馬台長城を中心に、古き良き北京の最も伝統的な民族文化も保存されている。

建築
 村は山と川に寄り添う北方地域の典型的な「水辺の山々」の村落である。建築物は明・清・中華民国の様式で、計43万㎡、青壁、灰瓦、古木の梁は、典型的な北方の民家の建築様式である。四合院は古き良き北京の民家の代名詞だが、ここでは山の地形に合わせ、独特の「山地合院」構造で、古い民家の一軒一軒から人々の知恵や工夫を目にすることができる。



無形文化遺産
 昔の北京にはおいしくおもしろい特徴的なものがたくさんあった。ベテランの職人たちによってその技が口伝で代々継承されてきた。古北水鎮ではそうした古い手工芸品を至る所で目にすることができる。噴きタバコ入れ作りや伝統的な手作業による酒造り、草木型染、動物の皮の影絵人形作り、鉛細工などなど、挙げるに限りがない。これらの無形文化をより良く紹介し継承していくため、村の職人たちは旅行者と互いにコミュニケーションをとりながら手取り足取り作り方を教えてくれる。



古北水鎮内での民間芸術のパフォーマンスは、また一味違った文化と生活を体験することができる。京剧は中国の国粹であり、多くの人に愛されている。そのほか、中国の東北地方の劇「評劇」や河北省の伝統劇「梆子」、河北地方に伝わる曲種「大鼓書」、日本の津軽や落語に似た伝統的な話芸「相声」、雑技などは北京人の最も素朴な生活を象徴したもので、優雅な中にも日常生活の楽しさやユーモア、そして豪快さがにじんでいる。



長城のふもとの宿

水鎮大酒店（水鎮グランドホテル）
 水鎮大酒店は、5つ星ホテルを基準として初めて烽火台をテーマに建てられたリゾートホテルで、山と川に囲まれ、司馬台長城を眺めることができる。総客室数は409室、ジム、スパ、プール、室内ゴルフ場、カラオケなど健康、エンターテインメント施設を完備している。



古北温泉度假酒店（古北スパリゾートホテル）
 古北温泉リゾートは、5つ星ホテルを基準に建設されたホテルで、山と川に囲まれ、水鎮の夜景を一望することができる。総客室数は300室、大浴場、スパ、ジム、プール、国際会議センターが一体となったレジャースパリゾートホテルである。



長城書舎（グレートウォールホテル）
 長城書舎ホテルは、古北口の詩をテーマにしたホテルで、至る所に歴代の皇帝や名家が古北口地域を過る際に残した詩の一首を目にすることができる。総客室数は28室で、オープンカフェでは風光明媚な景色を眺めながら、民族音楽を聴くことができる。ホテルには屋外プールがあり日中は水遊びができ、夜は美しい夜景を楽しむことができる。



威廉埃徳加精品酒店（ウィリアム・エドガーホテル）

ウィリアム・エドガーホテルは、長城の保存を提唱した世界的に有名な学者ウィリアム・エドガー・ゲイルを記念して名付けられたホテルで、総客室は50室。ホテル内には会議ホール、ドイツイスタイルのバー、屋外プールなどレジャー設備を完備し、快適で行き届いたサービスを提供している。



鳥鎮会精品酒店
 鳥鎮会精品酒店は山のみもとに建てられたホテル、白壁に黒い瓦、木彫を特徴とした江南庭園風の客室が39室あり、まるで水郷の露雨の中に身を置いているような感覚を味わえる。また、ヨーロッパ風の客室が12室あり、高原に身を置き、葡萄から贈られる。ホテル内には、読書スペースやカフェ、ワインバー、ミュージックホールなどの設備があるほか、茶道や生け花体験など古北の旅を充実させるプランも用意されている。



望京樓精品酒店
 望京樓精品酒店は鴨湖湖畔にあり、優雅な雰囲気味わえる。ヨーロッパ風の客室が33室あり、ホテル内にはジム、ヨガルーム、サウナなどのレジャースペースがあり、ささざる物のない屋外プールからは司馬台長城を眺めることができる。



古北民宿
 古北水鎮には個性的な民宿が計25軒、テイストの異なる客室が400以上あり、客室タイプはさまざまで、飲み物や無料Wi-Fiなど現代の設備が用意されている。また、親切な宿の主人や家庭的な中国料理に驚いたかのような温もりを感じられ、昔ながらの素朴な建物で現代生活の便利さと快適さと楽しむことができる。



一泊二日の観光プラン

1日目
 昼：景観区の色あふれる店舗やパフォーマンス、グルメ（古北ダック、司馬台紅壁の郷土料理などおすすめ）
 夜：温泉かけ流しの温泉（城上温泉館がおすすめ）、夜の長城ツアー、古北水鎮の夜景、京街水舞劇場（音楽と噴水）鑑賞、小鎮温泉旅館にチェックイン

2日目
 遊覧船で水鎮を巡り、DIY体験（風、灯ろう、型染めおすすめ）

連絡先
 所在地：北京市密雲区古北口镇司馬台村
 郵便番号：101508
 古北水鎮公式ホームページ：www.wtown.com
 Twitter：@GubeiWtown;@Simatai
 Facebook：Gubei Water Town Tourism
 問い合わせ・ご予約電話：+86 010-81009999